

としよ

図書だより

四街道市立和良比小学校

令和8年 1月



新年 明けまして おめでとうございます

冬休みは楽しかったですか。ゆっくり過ごすことができた人も多かったようですね。みなさんは1年間に何冊くらいの本が出版されるか知っていますか？日本では雑誌をのぞいて、およそ7万冊の本が出版されるそうです。1日に200冊もの本が発売されていることになりますが、そのすべての本を読むことはできません。2025年の調査では、小学生の1か月の読書数は平均12.5冊というデータがあります。逆に1冊も読まなかったという人が10人に1人いるそうです。冬休み前には全部のクラスが図書室に本を借りに来てくれました。あなたが手にした1冊はたくさんの本の中から選ばれた奇跡の1冊かもしれません。自分に合う本、合わない本いろいろな本があるかもしれません、ぜひ本との出会いを楽しんで読んでみてください。

今年も良い年になりますように。

今年はうま年ということで馬が主人公の本を紹介します。



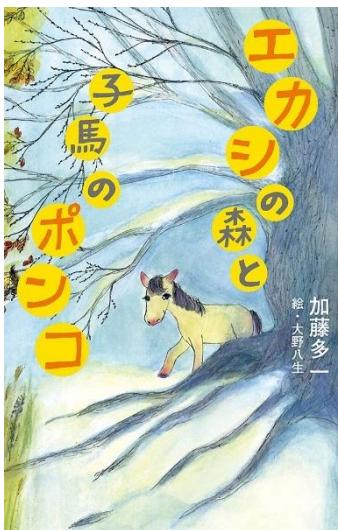
エカシの森と子馬のポンコ

加藤 多一【作】 大野八生【絵】<ポポラ社>

それが大人になるっていうこと？

子馬のポンコは、牧場を逃げ出し森で自由に生きることを選びました。森の中でふわふわ飛んでいるガガイモのタネや体がどこにでもあるというカメムシ、長老の木「エカシ」と出会い心と身体の成長を知ります。

2021年の課題図書、高学年に読んでほしい1冊です。



ねんかん さつ 年間60冊チャレンジ

図書祭りの本探しにたくさんの人人が参加してくれました。ありがとうございました。
最終的に75名がクリアすることができました。惜しくもスタンプがたまらなかつた人もいろいろなジャンルの本を手にとるきっかけになったと思います。これからもぜひ、読書の幅を広げていってください。

さて、図書委員会ではもう一つチャレンジ企画をしています。それは年間60冊チャレンジです。図書室の本を60冊以上読んだ人、全員に賞状を差し上げています。その他60冊に早く到達した12名には、図書委員体験チケットを用意しています。カウンターの中で貸し出し・返却のバーコードの読み取りなどの体験することができます。こちらは2月28日が締め切りなのでどんどんチャレンジしてください。

12月は国語の学習でいろいろな学年が図書室の活用をしてくれました。

<1年生> 「おはなしどうぶつえん」をつくろう



どうぶつの出てくる本をよみ、どうぶつごとにまとめてどうぶつえんをつくりました。

<2年生> 「お話しじゅつかん」を作ろう



いちばん心にのこったところを絵にかいてしょうかいました。